



発行所  
福井県大野郡  
和泉村  
下穴馬 電話 912-02  
中竜 電話 912-03



(昭和44年12月1日現在)

村の人口	
出生	0人
死亡	1人
転入	8人
転出	30人
総人口	2,526人
男	1,307人
女	1,219人
世帯数	624世帯

村の面積  
332.26平方km

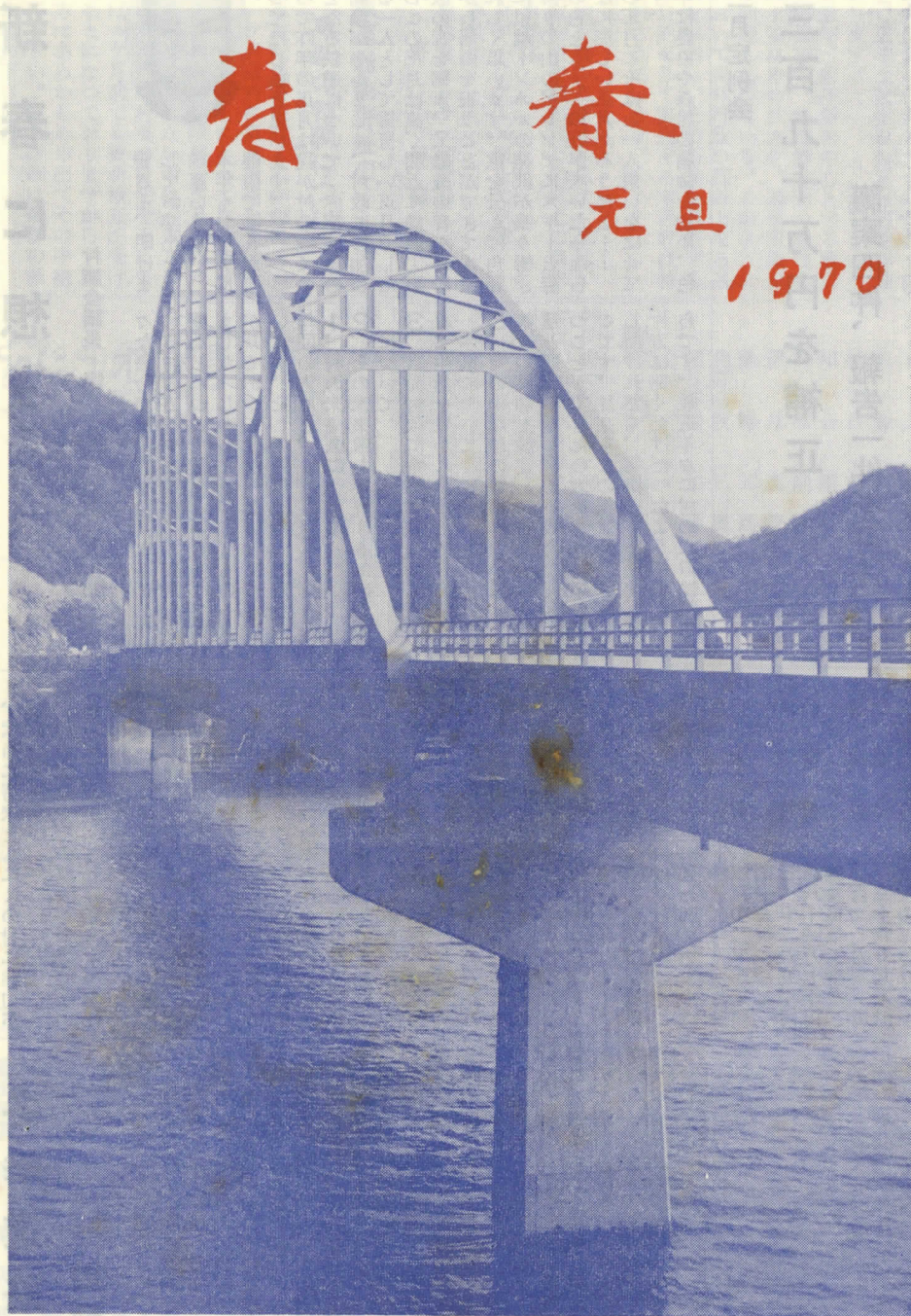
### 年頭の挨拶

村長 杉本又助



村民の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、何かと御世話になりました。紙上をかりまして厚く御礼申し上げますと共に、今年もどうぞ倍旧の御引立を御願ひ申し上げます。去りし一年を回想致しますと、既に御承知のとおり、鉄道工事の進展、国道改修工事の進捗と併せまして、村事業もおむね初期の成績を挙げる事ができました。工場設置条例の趣旨によつては福山織物株式会社の朝日工場の線業開始、大日産業株式会社の中竜工場の新築があり、福祉施設としては歯科診療の開設があります。人類が月へ二度も往復した今日、科学の進展と共に文化の発達に伴う各地域の開発はまことに目ざましいものがあり、本村がこの置かれた地理的条件のもと、立ち遅れた格差の是正に努めますことは、実に容易ならぬものであり、また鉄道、国道の工事においてもみられるように、計画の実現までには年月という時間の経過を要するものであります。

国家全体としても、所謂七十年代として容易ならぬ昭和四十五年を迎えました。この年を乗り切るためには、徒に政治家のみにまかせつ放しにすることなく国民一人一人が慎重に努力することが必要でありまして、吾々のこの和泉村の建設に当りまして、村民各自の、忍耐と努力こそ村の建設の基であることを御自覚下さいまして、一段の御協力下さる事を御願ひ致しますと共に村民各位の御健康を祈念致しまして、新春の御挨拶と致します。



寿 春  
元旦

1970

◇ 家庭の日 毎月第三日曜日



# 新春に想う

村議会議長 尾崎 彦次郎



皆さん、明けましておめでとう御座います。本年もお互いに健康で平凡な年であつてほしいと思います。

ところで昨年の正月は我が村の総ての基本となる鉄道について、赤字路線の存廃問題がやかましく、村政に参加している一人として重苦しい正月でした。しかしこの正月は直ぐ間に鉄道工事の発破の音を聞き、又織機の音を耳にしながら屠蘇を祝うことができて本当にうれしく思います。欲を云えば角野の山に只越トンネルの発破が鳴り響きその隣りの山のグレンデにスキーと若者達の色とりどりの花が咲いたらならどんなに楽しい正月だろうと……

来年の正月こそはと一人想いをしています。昨年は農協や森組の総会を始め、色

- 1、村の未来像について
  - 2、その未来像を実現するための施策について
  - 3、当面村政に希望することについて
  - 4、生活を豊かにするための方法や具
  - 5、その他環境の整備について
- 等々の問題を設定して村長や村議員達と研究し話し合える機会を何回も持つことができた大変うれしく思うのです。従来もこの様な機会はありましたが、片方は聞くだけだつたように思えるからです。最近年々に村の人口は減る傾向

- 1、向にありますがどうしてだろうか？
- 2、村の施策やその啓蒙が十分でないからだろうか（これは私どもの責任で申し訳ないが）
- 3、最近どの家庭でも子弟が高校や大学に進学するため、このような山村では職業が十分に選択できないからだろうか
- 4、それとも都会に比して近代文化の恩恵に浴することが少ないからだろうか、その他色々理由があるに違いないが、はたしてこの村に住んでいては、これ等の不満が解決できないものか、又都会はそれ程よいものだろうか、考えれば考える程根は深い、問題は、この際婦人会や青年団の方々とこれ等の問題に取り組んで見たいのです。何故ならば、この方達は周囲に気にせず、しかもどんな問題とでも大担に取り組む天性と意欲を持つている方々であることを知っているからです。理想は追いついていくのではない現実です。でも努力すれば必ず近づけることができますと古言に云われています。

# 冬季道路除雪計画

## 機動力で常時交通確保

本格的な降雪を間近に今度、和泉工務所と和泉村にて、除雪計画が決まりました。本年は工務所へD06ブルドーザー一台、村にて購入のD06ブルドーザー一台が増設、尚村内建設業者の協力を得て強力なる除雪が行なはれます。計画には積雪一五糎至三十糎になり、まずと直ちに除雪作業に入り、主要幹線の道路交通を確保する。

除雪主要道路の順位は、第一次路線として国道一五七号線、大野市より九頭竜ダム間、第二次路線として国道九頭竜ダムより岐阜県境まで、県道谷戸口より中龍鉦山守衛所前、石徹白線朝日より後野間、第三次路線として、中龍鉦山守衛所より鉦山間、後野より前坂間の交通を確保し順次、村道の除雪を強力に進める計画であります。除雪により一次線より順次除雪する中で、奥地路線の確保が保たれる場合もありますので御承知願います。

除雪については能率均な然も有効適切なる作業をするため、沿線の皆さんの御協力を御願います。

- 1、道路わき、待避所等障害物を取除く事
- 2、消火栓、水道栓には完全な標識を設ける事
- 3、道路に面した戸、庭木等破損しない様、板垣等で完全な囲いをする事
- 4、屋根雪降しは除雪前におろす様にし除雪車の作業に迷惑をかけない事
- 5、除雪車作業中は軒下等より雪を出さないで責任者の指示に従う事
- 6、道路ぞいの用水路が作業のため一時洪水した場合には全員協力して防
- 7、道路附近の空地へ一時雪を押し出す場合もありますから御了承下さい。尚除雪作業中状況により物件等の破損の心配もありますので道路上下及び道路わきに障害となる様なものは置かない様よく注意して下さい。道路上等の物損については補償等がありませんのであらかじめ御了承願います。

# 防火診断実施

## 全国秋季火災予防運動

昭和四十四年度全国の秋季火災予防運動は、十一月二十六日から十二月二日の一週間行なわれた。

この運動期日中、和泉村消防団においても、村民に火災の予防を呼びかけたり、又事業所や学校等の防火診断を実施しました。

火災予防運動期間中だけでなく、これからは、火を使用する機会も多くなるゆえ、火災予防の万全を期するよう各家庭共に注意して下さい。

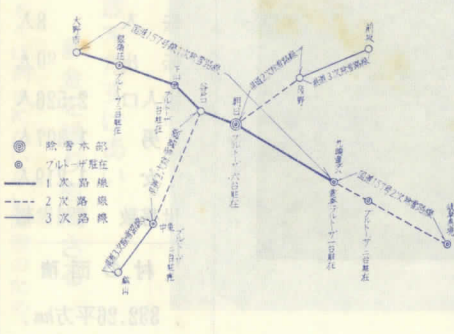
# 三百九十万円を補正

## 議案四件、報告一件を可決

和泉村議会、第五十五回定例会は、去る十二月十七日召集され、四十四年度一般会計補正予算案(第四次)を始め、振興計画審議会条例の制定について、村営土地改良事業施行についてなど議案四件、報告一件が原案どおり可決された。

- 一、一般会計補正予算(第四次)
- 昭和四十四年度一般会計補正予算(第四次)は、三百九十一万四千円が追加計上され、これと本年度累計額は、二億九千三百三十六万円となつた。
- 今回の内訳は次のとおりである。
- |         |           |
|---------|-----------|
| ○総務費    | 三百七十七万七千円 |
| ○民生費    | 三十五万七千円   |
| ○農林水産業費 | 百二十万三千円   |
| ○商工費    | 五万円       |

- |      |              |
|------|--------------|
| ○土木費 | △四百八十八万四千円   |
| ○国防費 | 国道負担減など      |
| ○教育費 | 百八十一万七千円     |
| ○公債費 | ボイラー施設電気工事など |
| ○予備費 | 百三十九万九千円     |
- 尚、提出議案報告は次のとおり
- 一、振興計画審議会条例の制定について(議案第三十八号)
  - 二、村営土地改良事業施行について(議案第三十九号)
  - 三、農業共済無事戻しについて(議案第四十号)
  - 四、昭和四十四年度和泉村一般会計補正予算案(議案第四十一号)
  - 五、専決処分した事項の承認について(報告第一号)





# 一九七〇年 世界農林業センサスに ご協力をお願いします

十年に一回の世界農林業センサスが今年二月一日より実施されることになり、調査員がお伺いしますのでよく検討の上、正確な数字をお示し下さる様お願いいたします。

ここ数年、若年層を中心とする農業労働力の流出で、都市農村間の環境条件に関する格差の拡大や、過疎現象が大きな問題となっている。このような時期において農林行政の指針となる基礎資料を整備し、その将来を洞察することを目的として実施する本統計は特に重要視されています。

調査区分  
経営耕地面積が五アール以上、又は、年間農産物販売額が五万円以上の農家  
農業事業体  
保有山林が一〇アール以上の林家  
林業事業体  
◎世界農林業センサス調査員  
角野 山田 健二

## 自動車運転免許証の 更新の特例について

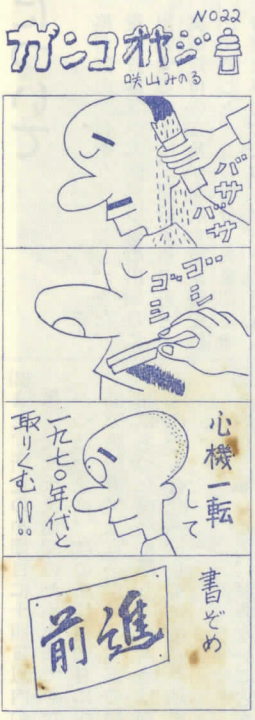
自動車運転免許証は、三年毎にその期限前一ヶ月以内に更新検査を受けなければならぬことになっておりますが、積雪等のため期限前一ヶ月以内に更新検査が受けられない者は、本人の申請により、市町村長の証明をそえて届出れば一ヶ月前でも更新検査が受けられることになっておりますから、該当者の方はあらかじめ申出てその手続をとって下さい。なお詳細は最寄の派出所でお尋ね下さい。  
朝日巡査部長派出所

下大納	松田 喜代志
上大納	番屋 一英
下山	清水 正
板倉	森尾 利
朝日	中内 智
川合	新井 太郎
伊月	洞口 秀男
後野	高崎 弘
角野前坂	三島 健太郎
朝日前坂	加藤 清治
	藤房代

## 税のお話

村民税は所得割と均等割の二つの方法によって課税することになって居りますが、今月はその所得割の課税標準となる所得についてお話いたします。所得とは一口に言えば、収入金額から収入を得るために必要な経費を差し引いた残りの金額のことです。これを大別して事業所得、配当所得、不動産所得、山林所得、退職所得、一時所得、山林所得、退職所得、利子所得等に分類されます。事業所得を更に分類して営業所得、農業所得、その他の事

業所得に区別して呼んで居ります。営業所得と言うのは物品の製造、販売修理、運輸を業とするもの、料理、飲食店業、建築業、金融業その他営業から生ずる所得のことです。農業所得には田畑の耕作によるもの外養蚕、家畜、果樹等から生ずる所得も含まれます。その他の事業所得とは弁護士、司法書士、医師、作家等の所得のことです。配当所得とは株式や出資の配当、協同組合などの剰余金の分配などの所得のことです。不動産所得とは、土地や家屋を貸付けた場合の年貢、家賃の類であります。雑所得と言ふのは、貸付金、郵便年金、生命保険年金、原稿料、講演料、機械類、自動車等の使用料、買つてから三年以内の山林の譲渡等の所得その他他の所得にあてはまらないものは雑所得となります。給与所得とは、俸給、給料、賃金、歳費、年金、恩給、賞与などの所得のことです。譲渡所得とは土地、家屋、機械、借地権、特許権などを売つた場合の所得のことです。一時所得は、懸賞当せん金品、競馬、競輪の払戻金、贈与を受けた金品等の所得のことです。山林所得とは山林の立木のみ売つた場合の所得のことです。退職所得と言ふのは、申すまでもなく官公庁或は会社、組合等を退職した際受ける退職金等の所得のことです。利子所得については非営業の場合の貸付金利子は雑所得になりますが貸付しを業とするものは貸付金利子は利子所得となります。



## 九頭竜ダム観光写真 コンテスト入賞の発表

去る十月、紅葉の九頭竜ダムの雄大な景観を再認識し、多角的にこれをとらえることを目的に、本村と福井新聞社の共催で写真コンテストを催したところ、十一月十日の締切までに、九十六点の多数作品が寄せられ、同月二十四日、福井新聞社写真部長を委員長に同大野支社長、本村助役、産業観光課長、観光協会会長等で作品審査会を行なつた結果、三十一点が入賞し十二月十五日までに賞状、賞金が入賞者にとどけられることになった。

- 審査委員長の好評によると非常に多数の優秀作品が寄せられ、選外作品の中にも入賞に劣らないものが多数ありこの充実した内容からすれば、福井方面を中心に行なわれる写真展又はコンテストに何等損色がないとのこと、入賞の榮譽は勿論、ダム景観の見事さも充分自負出来るものと思ふ。
- 因に入賞者一覧は次の通りである。
- ◎最優秀賞(一名)  
辻岡高正 鯖江市(晩終の九頭龍湖)
- ◎特選(一名)  
島田 清 武生市(九頭龍湖畔)
- ◎優秀賞(三名)  
吉田一夫 春日井市(たのしい休日)  
桜町誠一 勝山市(無題)  
尾花繁男 和泉村(橋、橋と湖)
- ◎入賞(六名)  
田中邦和(福井市)高橋昌亨(大野市)  
加藤久幸(和泉村)沢村勝司(稲沢市)  
木谷 隆(武生市)藤田昭信(大野市)

- ◎佳作(二十名)  
辻岡高正 杉田繁弘 沢村勝司  
吉田一夫 加藤久幸 笠島栄一  
尾花繁男 島田 清 木谷 隆  
杉田繁弘 北川政吉 榊原範夫  
滝沢 貢 小島 弘 木村 勇  
藤田昭信 角 清 北川政吉  
笠村春夫 木村 勇

## むつき(一月)



村を明るくするには先ず個人個人が平和な家庭を築くことではないでしょうか。新しい年を迎え一家庭の年寄りから子供までがみんなが楽しく暮らして明るい日々を過ごさなくてはなりません。昨年の敬老の日一〇〇才以上の長寿の人達が、長寿の秘訣は何かという質問に「明るく一家むつまじく」絶対にはいわないなどと答えたとの事です。心のもつれが正しく処理されないために起る病気が意外に多いのです。最近では心理的立場からも考えなければ正しい診断治療のできない病気がどんどんふえて居る所です。職場で神経をすりへらし、家庭が心の平静をえられる憩いの場所ではないために病気に逃げ込む人が大勢います。一生のうちで最も精神的影響を受けるのは幼児期です。幼児がどういう雰囲気の中で育つかはその子におしつけるためにやり切れなくなつた子供が心のもやもやの吐け口を無軌道にみだらな行いを求めたり又病気になる例はたくさんあります。不安恐怖、怒り失望等心の平静を乱すような感情は自分の考え方を要する事によつて処理し自分の態度やものの考え方をできるだけ楽しく明るくするよう心掛けることは健康を守る秘訣ですがその根本は平和な家庭であり村を明るくする道につながることです。特別なことがなくともふとした機会に家庭の幸福をしみじみと感じるような家庭であれば病人のない家庭作り又村を明るくする第一条件ではないかと思ひます。

◆ 広報はとじて保存しましょう



◇ 暖房器具の取扱に注意

### 失業保険の取扱いについて

当役場では、村民の利便を考え、今年冬の失業保険の事務を当村で取扱うこととして貰いました、大野公共職業安定所に要望してまいりましたところ、昭和四十五年一月十四日(水)から三月三十一日までの期間に限り、次の方法によって取扱うことになりましたので、お知らせします。

この失業保険事務の取扱いは、役場の本来の仕事ではなく、公共職業安定所長の権限に属する事務の一部を村長に委せられ、村長の責任において事務を代行するものですから、失業保険金の支給をうけられる方は、この趣旨をよく理解し、役場だから都合がよいなどと言う安易な考えをすて、安定所に出頭する場合と同様、法的に定められた正当な手続によつて、かりそめにも不正な行為や誤りのないよう、くれぐれもご注意ください。

なお最初に安定所に求職申込の際は、保険金払渡希望金融機関指定届「和泉村農業協同組合受付確認印のあるもの」を提出すること。

#### 一、役場への出頭

当村に居住する失業保険受給資格者大野公共職業安定所に出頭し求職の申込みを行ない保険金を受給するための手続を終えたときは、以後その者は、一月十四日(水)二月十二日(木)三月十二日(木)の所定日に役場に出頭すること。

#### 二、失業の認定

役場への最初の出頭日には、支給番号の記載してある失業認定申告書を提出し、安定所で作成された受給資格者証の交付をうけること。また、受給資格者が二回目以後の出頭日に

出頭するときは、受給資格者証と失業認定申告書及び保険金請求書を提出すること。この場合、失業認定申告書は事実のとおりを完全に記入し記載内容に誤りがないかどうか、とくに確かめること。

#### 三、保険金の支給

受給資格者が二回目の所定出頭日に

出頭したときは、失業の認定を行なうと同時に、最初の失業認定日数分の保険金を和泉村農業協同組合の各個人別に口座に払込まれており、そこから払出すなり貯金しておくなり随意にして下さい。ただし三月三十一日までで支給終了とならない者は四月九日(木)に大野公共職業安定所に出頭すること。また三月三十一日の失業認定日数分については、役場において支給する。また、冬期間に就職する者は、随時「なるべく就職の前日」安定所に出頭すれば、保険金は直接安定所において支給される。なお受給資格者証には、出頭年月日及び出頭の表示並びに支給金額を記入し、取扱者印を押捺して本人に返付する。印鑑は最初安定所において使用したものを持参することが必要である。

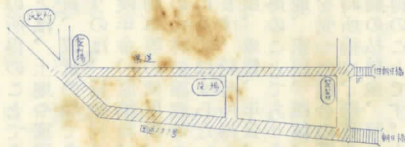
#### 四、注意事項

(1) 受給資格者が所定の出頭日に出席しなかつた場合は、その期間については、保険金は支給されない。ただしその次の所定出頭日までの間に出席した時は、その出席した日からの分

について保険金が支給される。  
(2) また、所定の出頭日に十四日以内の傷病又は天災地変のため出頭できなかったときは、次の所定出頭日に医師の診断書又は官公庁の証明書の提出があつた場合に限り、保険金は前回の分も合せ一括して口座に払込まれる。  
(3) その他詳しいこと、解らないことがあれば、遠慮なく役場でご相談下さい。役場において解らないときは、大野公共職業安定所に問い合わせ御返事します。

### 臨時交通規制のお知らせ

#### 臨時交通規制区間



一月一日より二月末日までに次のとおり臨時交通規制を実施致しますので自動車を運転される方は御協力下さい

- 一、期日 昭和四十五年一月一日から二月二十八日まで
- 二、区間 和泉劇場前より和泉製材所まで

三、対象 諸車の国道及び県道の区間は道路幅員がせまいうえに道路の両側に人家が密集している、除雪ならびに道路幅員を確保するのが困難なため実施するものです。  
規制期間中にこの区間に駐車されますと駐車違反に問われますので、

### 学習発表会催される

朝日小学校後野分校

あらかじめ駐車場、車庫などを確保しておいて下さい。  
後野分校では去る十二月五日午前十時から学習発表会が催された。この日は例年になく早い雪に見舞われたせいか、父兄の足もまばらであったが、次第にふえ、屋近くには講堂一杯になり児童たちは日頃の練習の積み重ねた劇、おどり、合唱など多数の演劇を披露し父兄からおしみなない拍手が送られた。  
又午後は後野、前坂両婦人会のおどりや、飛入りで浪曲が出るなど楽しい一日であつた。



### 歳末たすけあい 募金を贈り慰問さる

本十は例年になく早い降雪のため、

十二月五日大野市内の大野和光園、大野荘、尾崎整形外科医院、尾崎病院の本村の入園、入所者を老人クラブ会長谷口市松氏、民生委員(総務) 巢守栄太氏、島田住民課長、三橋民生主任の各氏が訪問、歳末たすけあい運動で寄せられた尊いお金を贈つて慰問した。また、他の社会福祉施設、療養施設村内のボーダーライン層の家庭などにNHKからの慰問金と村民の皆さんから寄せられた善意のお金を、明るい希望の正月を迎えられるよう贈つて皆さんの善意をわがりました。  
この寄せられた温い善意に深く感謝すると共に、一日も早く全快、自立されることをお祈り申します。

### 人のうごき

- 【婚姻】 朝日 山田 正子 富山市大井 四下 弘之
- 【死亡】 上大納 前田みゑ(78)

### あとがき

明けましておめでとございます。編集員一同謹んで新春のご挨拶を申し上げます。  
新年を迎え編集員一同更にその使命の重大さを自覚して、皆様方が茶の間で村の動きを把握して頂けるよう一層の努力を続けたいと思ひます。ご愛読と協力をお願い申し上げます。  
初冬から中冬そして厳冬へと、真白に輝く新雪の朝など、寒さはひしひしと身を覆うころでもあり、又、例年になく長冬に運動不足がみで健康には十分気をつけて下さい。